

## 1. 投稿資格

- 1) 筆頭筆者はへき地・離島救急医療学会の会員に限る。
- 2) 投稿は、国内外の他雑誌等に掲載されていない原稿、あるいは現在投稿中でない原稿に限る。

## 2. 原稿執筆について

- 1) 投稿論文は、原著論文、総説、調査報告、事例報告、資料、話題とする。なお、学術集会で発表していない内容についても投稿を受け付ける。それぞれの投稿区分の要件は以下の通りである。

原著論文：新たな知見を提供する論文であり、単なる調査・事例報告ではなく評価・検討を行い、新知見または創意が含まれている研究論文である。

総説：ひとつのテーマに関連する多くの研究論文総括・評価・解説であり、読者に当該テーマにおける経緯を踏まえた最新の知見を提供するものである。

調査報告：へき地・離島医療に関する実態調査等の報告でデータ自体が利用価値を有している論文。

事例報告：へき地・離島医療に資する症例や事例等の報告。

資料：ガイドライン、統計的データ等で、へき地医療の向上に活用できるものである。

話題：へき地・離島医療に関する最近の話題および意見。

論文作成にあたっては、個人情報について適切な配慮が必要である。

該当する論文にはその旨、明確に記載をすること。

- 2) 原著、総説、調査報告、事例報告は、題名、著者名、要旨(和文および英文)、本文、図表・図表の説明、引用文献を含めて、12000字(400字詰め原稿用紙にして30枚)以内とする。資料、話題は、題名、著者名、要旨(和文)、本文、図表・図表の説明、引用文献を含めて、8000字(400字詰め原稿用紙にして20枚)以内とする。図表は400字詰め原稿用紙1枚と換算する。
- 3) 原稿の体裁は、文字サイズは10~12ポイントで、A4版白紙に印刷する。半角ひらがな、半角カタカナ、特殊文字(例：○囲み数字：①など)は使用しない。数式、外字、ルビ(ふりがな)、上付き、下付きなどの文字は、付箋やコメントなどわかりやすい方法で指示すること。表紙を1ページとしたページ番号を明記する。
- 4) 原稿の表記：原則として日本語とする。日本語化していない外国語、人名、地名、薬品名などは言語のまま用いる。略語を用いる場合はその初出の箇所を明記すること。

## 5) 必要記載事項

表紙：著者が希望する投稿区分(原著、総説、調査報告、事例、報告、資料、話題など)とタイトル、著者名と所属(著者が複数の場合、それぞれの所属がわかるように記載すること)、連絡先(住所、電話番号、FAX 番号、事務局からのメールを受信できるEメールアドレス)を記載する。なお、最終的に学会誌に掲載されるときに投稿区分については、編集委員会が決定するものとする。

要旨：400字以内の邦文要旨とキーワード(原則として5語以内)を添える。合わせて250語以内の英文要旨と英文で表記したキーワードをつけること。邦文・英文とも、原著は必ず目的(または背景)、方法、結果、結論という構造とし、この順に記述すること。また原著以外の論文でも、これに準じた構造化文章とする。

英文要旨およびキーワードは、和文と内容を同一とし、必ず **Native Check** を受けることとする。また **Native Check** を受けた旨を、文章の後に記載すること。

資料、話題については、英文要旨を省略できる。

## 6) 図表

①10枚以内とし、それぞれ1点につき用紙1枚を使用する。

②画像はデータファイル(BMPまたはJPEGで保存。解像度は原寸で350dpi)での送付が望ましい。スキャンできない場合は、そのまま印刷原稿として使用できるよう、写真はキャビネ判以上の明瞭なもの、図の場合は原図を郵送のこと。Microsoft Excel, Microsoft PowerPointなどで作成した図表も受付ける。

③図表は原則としてモノクロで掲載する。

④通し番号とタイトルをつけて、本文とは別に番号順にまとめること。本文中も図1、表2のように記述すること。

⑤他の論文等から引用する場合は、出典を明記すること。

## 7) 引用文献

必要最小限にとどめること。本文中に引用順に肩つき番号をつけ、本文の最後に引用順に記載する。

☆雑誌の場合

著者名(3名までとし、以降は「他」あるいは「et al」と記す): タイトル. 雑誌名 年; 巻: 始めのページ-終わりページ. の順を原則とする。雑誌名の略記は医学中央雑誌収載誌目録略記表および **Index Medicus** に準ずる。

☆書籍の場合

著者名(3名までとし、以降は「他」あるいは「et al」と記す): 章名, 書名. 編集者名. 地名, 出版社名, 年, 始めページ-終わりページ.

8) 掲載料金については、トレーシングを必要とする場合および特別な印刷技術を必要とする場合(カラー印刷を含む)の実費は著者負担とする。

### 3. 原稿提出について

- 1) 投稿にあたっては、原稿および図表を印刷したもの（正1部とコピー2部）および原稿・図表の電子データを、学術集会開催時に持参あるいは、以下に示す事務局まで、郵送・宅急便で提出する。郵送の場合は簡易書留で送付することが望ましい。

提出先 〒852-8501 長崎県長崎市坂本1-7-1

長崎大学病院 地域医療支援センター

電話 095-819-7346 FAX 095-819-7379

E-mail address emraii@ml.nagasaki-u.ac.jp

(@を半角に変えてください)

- 2) 提出期限は、原則として学術集会終了後2か月以内とする。学術集会で発表していない内容に関する論文についても、前述の提出期限を遵守する必要がある。学術集会が開催された翌年の1月10日を過ぎて到着した原稿は、当該年度の学会誌に掲載しない。
- 3) 電子データは、CD-R、3.5 インチフロッピーディスク(以下FD)等の記憶媒体に保存して、原稿および図表のプリントアウト(合計3部)と同封するか、学会のメールアドレス(mail : emraii@ml.nagasaki-u.ac.jp)宛メールで提出する。なお、データの大ききの合計が1MBを超える場合は郵送あるいは宅急便で送ること。  
Eメールにて送る場合には、件名を「へき地離島救急医療学会誌投稿・(著者名)」とし、添付ファイルとして送るものとする。
- 4) 本文および図表はそれぞれ次のように保存して送ること。  
本文：作成アプリケーションで保存したファイルとテキストで保存したファイルの両方を送付する。  
画像：JPEG か BMP 形式を原則とする。これらの写真等を組み込んで作成した図やプレゼンテーションソフト等で作成したデータは、各アプリケーションソフトで保存したファイルも添付すること。
- 5) 本文と図表はできるだけ1枚の記憶媒体に保存し、記憶媒体の表面に使用したアプリケーションソフト名とバージョン、著者名、提出日を明記すること。
- 6) FDの場合は、MS-DOS (Windows を含む) か Macintosh 形式でフォーマットし、フォーマット形式を明記すること。
- 7) 原稿および記憶媒体は返却しない。また、万一に備えてコピーを手元に保存すること。

#### 4. 査読について

- 1) 11 卷(2010 発行予定)以降の学会誌については、査読制度(ピア・レビュー)を導入することとなった。
- 2) 学会誌に掲載される論文は査読を経て、編集委員会(規定については別に定める)が採否を決定する。最終的に、論文をどの投稿区分で掲載するかについては、編集委員会が決定するものとする。
- 3) 編集委員会は、査読者の意見を受けて、論文の内容について検討を行い、学会誌への掲載にあたって修正すべき点があれば、著者に提示して論文の修正を求めるものとする。
- 4) 著者は、修正すべきとして提示された点について推敲したのち、編集委員会が指定した期限までに、再提出するものとする。

5. 著作権について、本誌に掲載された著作物の著作権は、へき地・離島救急医療学会が保有するものとする。但し、著者本人が使用することは妨げない。

#### 6. 附則

本投稿規程の改定は編集委員会によって行われ、すみやかに学会のホームページ等で公表される。

#### 【編集委員長からのコメント】

1. 原著論文は少なくとも2名の、それ以外の論文は少なくとも1名の査読を予定しています。
2. 学会の幹事・世話人の皆さまには査読をお願いすることになると思います。
3. テーマによっては、編集委員会の判断で外部の方に査読を依頼します。
4. 当学会の発展および向上のためにご協力をお願いします。